

IDの管理形態

	ID	モデル	特徴
セパレートモデル	行政サービス毎に分野別IDを付番		➤分野別IDカードによってそれぞれの行政サービスを受ける。 ➤ID漏洩被害は分野単位に止まる。 代表例:ドイツ
フラットモデル	分野別IDを廃止しJAPAN-IDに統一		➤JAPAN-IDによってそれぞれの行政サービスを受けることができる。 ➤ID漏洩被害が広範囲に及ぶ。 代表例:アメリカ
セクショナルモデル	行政サービス毎に分野別IDを付番 各分野別IDをJAPAN-IDで紐付け		➤JAPAN-IDによってすべての行政サービスを受けることができる。 ➤ID漏洩被害は分野単位に止まる。 代表例:オーストリア